

<b>学校名</b>	<b>佐賀県立高志館高等学校</b>
<b>1 前年度 評価結果の概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分野で新たな取り組みを始め、魅力ある学校づくりと地域への情報発信に重点をおいて取り組んできた。</li> <li>・進路保障や部活動・農業クラブ活動の活性化では、確かな実績を積み上げることができた。</li> <li>・生徒指導上の諸問題が多かったことから、指導体制を見直し、風通しのよい教育環境の整備に取り組む。</li> <li>・ICT活用教育を推進し、わかる授業の徹底と専門高校としての教育内容の充実を図る。</li> </ul>
<b>2 学校教育目標</b>	<p>校訓「高志潔心」の理念を指針として訓育に努める。</p> <p>①学業の充実 ②基本的な生活習慣の確立 ③生徒会活動・農業クラブ活動・部活動・ボランティア活動の活性化 ④信頼される開かれた学校の推進 ⑤専門教科の教育内容及び施設・設備の充実</p>
<b>3 本年度の重点目標</b>	<p>スローガン「ステップアップ高志館」－マナーの向上と更なる成長を目指して－</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が高い志を持ち、自らの可能性を信じて更なる「成長」を目指すよう、授業と部活動の充実に努め、生徒が力を試す挑戦の場を多く準備する。</li> <li>○時代とともに技術は変化するが、身につけた精神は生き方を支えることを生徒に理解させ、さまざまな教育活動をとおりて社会に貢献できる「人間力」を身につけさせる。</li> <li>○先が見えない時代にあっては、常に考え、課題を解決する「課題解決力」が備わっていることが必要であるとの認識を持ち、生徒に今は何をすべきかを常に考えさせ、課題や責任を果たさせる中で自信を芽生えさせ、自立しようとする気持ちを育む。</li> </ul>

**4 重点取組内容・成果指標**

(1) 共通評価項目			
重点取組			具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
<b>●学業の向上</b>	○朝の読書を通じた読解力の育成。	○学校図書館の貸し出し冊数が前年度を上回る。	・紙媒体の読書に加え、「佐賀新聞電子版」を読む時間を設定する。 ・指導教員も積極的に読書に取り組むことで、学校全体の意識向上を図る。
	○基礎学力の向上 ・わかる授業の徹底と満足度の向上	○ブチテストの平均点を70%以上にする。 生徒アンケートを実施して授業改善に取り組み、生徒の授業への満足度を80%以上にする。	・就職問題を繰り返し実施。 ・1学期末に授業に対するアンケートをとり、それに基づき授業改善を行い、生徒の授業に対する満足度を向上させる。
<b>●心の教育</b>	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○令和3年度の農業クラブ九連大会主催校として、おもてなしの心、相手を気遣う心への意識を80%以上にする。	・各学期で全校生徒を対象とした学習会として300日前、200日前、100日前のイベントを開催し、挨拶や接遇の指導により事務局運営校としての機運を高め、他者への思いやりとおもてなしの心を育成する。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめは、どこでも、誰にでも起こりうるので、いじめを受けている本人から教師に相談できる体制を整え、本人からの教師に訴える回数を昨年度より上回り、解決に導く。	・命の教育講話、SCによる講話、SCとの面談、いじめ模話、いじめアンケート実施。 ・指導体制を見直し、風通しの良い教育環境を整備し、生徒が気持ちよく学べる学校づくりに取り組んでいく。
	○特別支援教育の充実 多様性を認め合う生徒の育成。	○障害のあるなしにかかわらず、共に生活しやすい環境を創る。障害であることを理由に差別を受けられることを0(ゼロ)にする。	・発達障害をもつ生徒の保護者との信頼関係を築く。年度当初、学期半ば、学期末に面談を行い、本人・保護者の要望を聞き、ケース会議を開き、全職員への共通理解を図る。
<b>●健康・体づくり</b>	●望ましい生活習慣の形成	●「健康に食事は大切である」と考える生徒を80%以上にする。 ○学校全体の出席率を98%以上にし、怪我や体調不良等による欠席者を減らす。	・保健だよりの定期的な発行や生徒保健委員の活動関連する教科の授業を通して、望ましい生活習慣の大切さを理解させ、健康に関する意識を高める。 ・保護者との連携を密に行い、家庭での生活習慣改善に取り組む。
	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・部活動の休養日を遵守しながら、指導方法を工夫することで、競技力・技術力向上につなげる。 ・放課後の会議や行事を減らし、部活動に集中できる環境を整える。 ・行事の精選と内容の見直しを図り、準備等にかかる時間の効率化に取り組む。
<b>●業務改善・教職員の働き方改革の推進</b>	○教職員のITCスキルの向上及び生徒のICT活用推進	○教職員のITCスキルの向上 生徒がPCを使用する日数を授業日の50%以上にする。 生徒への配布物等については、ペーパーレス化に取り組み、生徒への配布印刷物前年比90%の減量に取り組む。	・教職員のICTスキルアップ研修を学期毎に実施して、授業への活用及び校務の効率化をはかる。 ・生徒のPC活用を推進するため、課題の提出や連絡事項の配布などにおいてもPCを活用する。 ・わかる授業の徹底と満足度の向上、専門教育での取り組みを強化し、専門高校としての教育内容の充実を図る。

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
重点取組			具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○進路保障	○求人減少が予想されるなかでの求人開拓 ○3年生での朝の10分進路学習および就職特課の実施 ○朝特課の有効な運用 ○個別進学指導の充実	○進路達成率100% ○佐賀大学合格達成 ○公務員への合格者を出す	・進路希望調査に基づく企業への求人依頼。 ・朝HR前10分間で進路学習。6月からは就職朝特課。 ・朝特課進学指導を1年生の10月からとし、それまでは進学することへの理解と自己評価に努め、以後は2年生終了まで継続。3年生からは放課後等の個別指導。
◎専門教育の充実	◎先進的かつ魅力的な専門教育を通して各分野への興味関心を深め、明確な進路意識を持った専門学習になるよう、志を高める教育を目指す。	○誇りを持って専門教科の学習に取り組む生徒を70%以上にする。 ○プロジェクト学習の推進を図り、地域貢献につながる研究活動と広報活動を行う。	・各学科とも先進技術を取り入れ、マイスターなどプロの技術を学んだり、高志館ブランドの商品の販売などを行い、それらを県民に広報することで生徒の充実感を高める。